

第1回 定例研修会

日時：令和3年4月11日(日)

場所：フクラシア東京ステーション、Web 併催

講師：金子 泰英先生、松成 淳一先生、砂盃 清先生



百瀬 康仁 (東京都)



4月11日はフクラシア東京ステーションにて現地および Web のハイブリッド形式で2021年度第1回定例研修会が行われました。

10時から田中会長に挨拶を頂き、会員発表は2題発表されました。

田中 全先生『日本歯科大学新潟病院
口腔インプラント科での研修内容』

相澤 玲子先生『破折した下顎左側第一大臼歯に
抜歯即時でインプラント埋入を行なった1症例』

田中先生は開業医では普段知ることが少ない、大学のインプラント科での研修内容に関してご発表頂きました。相澤先生は抜歯即時インプラントの症例と漢方の処方の有効性に関するご発表頂きました。

今回のセレクトドクターによるシンポジウムは「with コロナ～歯科経営を考える」というテーマで、最初に座長の宇田川 宏孝先生にコロナが発生してから現在までの社会情勢と歯科医院の経営に関して講演して頂き、以下3名の先生に御登壇頂きました。

金子 泰英先生『自分に素直に生きよう』

松成 淳一先生『歯科医師不足時代を迎えて』

砂盃 清先生『コロナ禍において地方中核市で
開業している定期管理型歯科医院の現状』

金子先生は開業後に現在の自由診療専門のクリニックにするまでの経緯や自由診療のクリニックに重要な事を講演して頂きました。松成先生は若いドクターとわいわいやりたいという考えの元で、複数の若い歯科医師を雇いながら医院を拡大して行き、コロナ禍の経営や現在も勤務医を雇う事が難しくなっている歯科医師不足に関する講演をして頂きました。砂盃先生は定期管理型歯科医院を開業当初から行き、医院の拡大や分院を展開される中で今回のコロナ禍での取り組みを講演して頂きました。短い時間の中でも活発なディスカッションが行われ、中でも古市先生の「院長の人格が大事」という言葉が印象に残りました。

そして午後は児玉 利朗先生(神奈川歯科大学大学院歯学研究科 高度先進口腔医学講座 インプラント・歯周病学分野教授)による特別講演『歯周病・インプラント治療におけるティッシュマネジメント』を拝聴いたしました。テルプラグやテルダーミスを用いた天然歯やインプラントにおける歯周形成外科のテクニックを、分類を交えながら非常にわかりやすく解説して頂きました。

今回は総勢80名近い参加者となりました。今回の定例研修会も大変勉強になりました。